

ごみ減量・再資源化に関する 市民アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから本市の環境行政にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

藤井寺市では、持続可能な社会の実現に向けて「ごみの減量」と「再資源化（リサイクル）の推進」に取り組んでおります。

ご家庭における排出状況やリサイクルの意識を把握し、皆さまのご意向を調査することで、今後の施策や改善の参考とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

日頃の率直なご意見をいただき、より良い環境づくりに反映させていきたいと考えておりますので、本趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 8 年 3 月

藤井寺市長 岡田 一樹

【ご記入事項】

1. 既に LINE アンケートでご回答いただいた方は、お手数ですが本書を破棄いただきますようお願いいたします。
2. ご記入は、鉛筆・ボールペンなどではっきりと濃くご記入してください。
3. 回答が終わりましたら、●月▲日（■）までに同封の返信用封筒にて投函してください。
(切手不要)
4. 回答内容については、すべて統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

【アンケート問合せ先】

藤井寺市 市民生活部 環境衛生課

〒583-8583 大阪府藤井寺市岡 1 - 1 - 1

T E L : 072-939-1077 (直通) M a i l : kankyous@city.fujiidera.lg.jp

アンケート回答用紙

I	①	地区	②	③	④	⑤
II	①	②				
	③	その他：				
	③を①と 答えた場合	→	④	その他：		
	③を②と 答えた場合	→	⑤	その他：		
	③を③と 答えた場合	→	⑥	その他：		
	⑦				その他：	
III	①				②	
	②のその他：					
IV	①	その他：				
	②	その他：				
	③				その他：	
	④	⑤				その他：
V	①	②	その他：			
	③	その他：				
	④	その他：				
VI	①	その他：				
	②	その他：				
	③	その他：				

ご協力ありがとうございました。

ご意見等ございましたら裏面をご活用ください。

裏 面

【 ご意見記入欄 】

藤井寺市ごみ減量・再資源化（リサイクル）アンケート調査

○ 各設問に対し、別紙回答用紙に該当する番号や内容を記入してください。

I 回答者情報

① 住まい

・ 町名をご記入ください。（青山・梅が園町など）

② 年齢

- ①19歳以下 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50～59歳
⑥60～69歳 ⑦70～79歳 ⑧80歳以上

③ 性別

- ①男性 ②女性 ③記入しない

④ 世帯人数

- ①1人 ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人以上

⑤ 住まいの形態

- ①戸建て ②共同住宅（マンション・アパートなど） ③店舗兼住宅 ④その他

II ごみの減量・リサイクルについて

① ごみの減量・リサイクルについて

- ① 関心がある
② 少しは関心がある
③ あまり関心がない
④ 関心がない

② ごみの減量・取り組みについて、実行していることを選択してください。（複数回答可）

- ① ごみと資源を分別している
② 買い物の際、過剰包装を断っている
③ マイバッグを持参し、有料レジ袋を極力購入しない
④ 詰め替え製品を購入している
⑤ コンポストを利用し堆肥化等をおこなっている
⑥ 不要品は捨てる前にバザーやリサイクルショップ、オークションサイトを活用することを心がけている
⑦ 再生品を積極的に利用している（トイレットペーパー、ティッシュなど）
⑧ 期限が近い食材を先に使う
⑨ 使わない食品を冷凍保存する
⑩ 食料は必要な分だけ購入する
⑪ 調理を工夫し、できるだけ残渣を出さないようにしている
⑫ フードバンクやフードドライブに寄付している
⑬ 取組んでいない
⑭ その他

③ 容器包装プラスチック分別についてお聞かせください。

- ① 分別し、リサイクルすべき
② 分別せず、焼却処分でよい
③ よくわからない

④ ③を①と答えたかたについて、近い内容を選択してください。

- ① 分別・収集・リサイクルに費用がかかっても行うべき
- ② 費用がかかるならしなくてよい
- ③ その他

⑤ ③を②と答えた方について、理由をお聞かせください。

- ① 面倒だから
- ② リサイクルに費用がかかるから
- ③ その他

⑥ ③を③と答えた方について、近い内容を選んでください。

- ① 分別の必要性がわからないから
- ② 分別の仕方がわからないから
- ③ その他

⑦ 本市のごみの減量・リサイクルを推進するため、必要な取り組みは何だと思えますか。

- ① ごみの分別方法を細分化させる (複数回答可)
- ② ごみの減量・リサイクルの情報を周知させる
- ③ トレイや・牛乳パック、カン・ビン・PETなど、販売店の回収を強化する
- ④ マイバッグの持参キャンペーンなどに取組み、レジ袋の削減を促す
- ⑤ 家庭ごみを戸別収集する
- ⑥ 家庭ごみを有料化する
- ⑦ その他

Ⅲ 食品ロスについて

【食品ロス】とは

本来はまだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを言います。
食べ残しや、腐らせてしまい廃棄することなどで発生します。

① あなたのご家庭では、どのように食品ロスが発生していますか。(複数回答可)

- ① 買いすぎて使い切れず、期限切れで捨ててしまう
- ② 作りすぎて残ってしまい、捨ててしまう
- ③ 食べられる部分ではあるが、不要なので捨ててしまう
- ④ 好き嫌いがあり、食べたくないものは捨てている
- ⑤ 食品ロスを発生させていない

② 食品ロスを発生させないため、取り組んでいることはありますか。(複数回答可)

- ① 期限が近い食材を使ったり、冷凍保存している
- ② 冷蔵庫の中を常に把握し、無駄な買い物をしないよう心掛けている
- ③ 料理を作りすぎないように気をつけている
- ④ 食材を余すことのないよう料理を工夫している
- ⑤ ご近所など他の人に譲っている
- ⑥ フードバンクやフードドライブなどに寄付している
- ⑦ 何も取り組んでいない
- ⑧ ごみとして処分せず、コンポストで堆肥化などを行っている
- ⑨ その他

IV ごみの処理費用及び戸別収集について

【戸別収集】とは

定められたステーション（集積所）にごみを出すのではなく、自宅の前にごみを出すことを言います。現行では、粗大ごみや不燃ごみ、カン・ビンなどの資源ごみが戸別収集となっています。

- ① 家庭ごみを処分するためにかかる費用について、どう思いますか。
- ① 税金でまかなうのではなく、全てごみを出す量に応じて負担
 - ② 一部は税金で、残りはごみを出す量に応じて負担すべき
 - ③ 全てを税金でまかなうべき
 - ④ わからない
 - ⑤ その他
- ② ごみ処理にかかる費用を自己負担する場合、ごみの減量・リサイクルに対する意識は変わりますか。
- ① 積極的に取り組む
 - ② これまでのまま変わらない
 - ③ その他
- （複数回答可）
- ③ ごみ処理にかかる費用を自己負担する場合、どのような点を配慮すべきと思いますか。
- ① 戸別収集などのサービスを向上させる
 - ② 資源物などの分別を強化する
 - ③ 店舗からのごみの指導を強化する
 - ④ 不法投棄を防止する施策を講じる
 - ⑤ 生活保護世帯などを対象に負担を軽減する
 - ⑥ リサイクルに関する情報を周知する
 - ⑦ 個人負担した額の使い道を明らかにする
 - ⑧ 自己負担の必要性をしっかりと説明する
 - ⑨ ごみ袋の大きさを複数用意する
 - ⑩ 特にない
 - ⑪ その他
- ④ 燃えるごみの収集方式を現在のステーション収集から戸別収集に変更することについてお聞きします。
- ① 戸別収集を望んでいる
 - ② どちらでもよい
 - ③ 戸別収集を望んでいない
- ⑤ その理由をお答えください。（複数回答可）
- ① 責任感が生まれる
 - ② 戸別収集化のための市の負担費用が勿体ない
 - ③ 戸別収集の恩恵を受けない（マンションのステーションなど）
 - ④ 近隣トラブルが解消される
 - ⑤ ご近所との付き合いが希薄になる
 - ⑥ 分別が促進される
 - ⑦ ごみの減量が促進される
 - ⑧ ステーション収集のほうが気に入っている
 - ⑨ 出したごみがわかるので、いたずらされたりすることが心配
 - ⑩ その他

V 現在のごみの捨て方について

① 草木などの剪定ごみを燃えるごみとして排出することについて

- ① 燃えるごみとして捨てられるようにしてほしい
- ② これまでどおり有料収集でかまわない
- ③ どちらでもよい

② 燃えるごみの収集回数について

- ① 現状どおり週2回でよい
- ② 週3回以上にしてほしい
- ③ 週1回でよい
- ④ その他

③ 不燃・粗大ごみの収集回数について

- ① 現状どおり月1回でよい
- ② 月2回以上がよい
- ③ 2か月に1回でよい
- ④ その他

④ 資源ごみ（新聞・雑誌・段ボール・衣類・カン・ビン）の収集回数について

- ① 現状どおり月1回でよい
- ② 月2回以上がよい
- ③ 2か月に1回でよい
- ④ その他

VI 新しく収集するとなった場合の収集回数について

① ペットボトルの収集回数について

- ① 週1回
- ② 月2回
- ③ 月1回
- ④ その他

② 容器包装プラスチックの収集回数について

- ① 週1回
- ② 月2回
- ③ 月1回
- ④ その他

【容器包装プラスチック】とは
中身を出したり使い切ったあとに不要となる、プラスチック製の入れ物や包みのことです。
主にプラマークが印字されています。

③ 製品プラスチックの収集回数について

- ① 週1回
- ② 月2回
- ③ 月1回
- ④ その他

【製品プラスチック】とは
入れ物や包みではない、プラスチックそのものが製品であるものです。

◎ その他ご意見がございましたら自由にご記入ください。ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】

藤井寺市市民生活部環境衛生課

TEL：072-939-1077（直通）

mail：kankyous@city.fujiidera.lg.jp

◎ 本市の取組みのご紹介

【おいくら】のご紹介

まだ使える不用品を、捨てるのではなく買取店に有償で引き取ってもらえるサービスです。売ることにより「お金」が手に入り、ごみの減量にもつながります。

QR

【廃食用油リサイクル】のご紹介

ご家庭から排出される植物性油を収集し、SAF（持続可能な航空燃料）化などバイオ燃料として利用することで、エネルギー資源の使用を抑え、二酸化炭素の削減などに貢献できます。

リサイクルボックスは市内6か所に設置しています。

QR

【PASSTO】のご紹介

捨てるのがもったいない不用品を、リユースするサービスです。リユースの促進、ごみの減量に貢献しています。収集ボックスは市内4か所に設置しています。

QR

【oHoHo CYCLE PROJECT（オホホサイクルプロジェクト）】のご紹介

「捨てる」から「つなぐ」を合言葉に、不要となった衣類の再資源化をめざし、衣類の回収を行っています。

本庁舎1Fに回収BOXを設置しています。

QR

【プチプチ回収】のご紹介

使用済みのプチプチ（気泡緩衝材）を回収し、リサイクルに努めています。本庁舎1Fに回収BOXを設置しています。

QR